群馬・ハンセン病　ともに生きる会総会

記念講演とコンサートの集い

重監房資料館開設から 11 年
岡雄二さん没後 11 年
差別と偏見の克服めざして
ハンセン病問題を風化させないために

故　岡雄二さん

2025 年 11 月 1 日 (土) 午後 2 時～4 時 30 分

群馬県社会福祉総合センター 8 階大ホール

前橋市新前橋 13-12（JR 新前橋駅から徒歩 5 分）　電話 027-255-6000

参加協力券　500 円

総会は 12 時 30 分より行ないます

記念講演　内田博文氏

国立ハンセン病資料館館長

■演題　ハンセン病問題の今

内田博文さん略歴

1946 年生まれ。京都大学大学院法学研究科修士課程終了。九州大学名誉教授。専門は刑事法学（人権）。厚労省第三者機関「ハンセン病問題に関する検証会議」「ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会」「ハンセン病に係る偏見差別の解消のための施作検討会」などの副座長、座長代理、座長などをつとめた。
現在　ハンセン病市民学会共同代表、熊本県ハンセン病問題啓発推進委員会委員長、国立ハンセン病資料館館長。
ハンセン病患者の権利擁護を中心とする医療基本法や差別禁止法の法制化の問題の他こどもの権利問題にも取り組んでいる。

午後 2 時～

平和・人権・ハンセン病を歌う
フォーク・デュオ「ともいき」

■斉藤　悟

「サークルかざぐるま」で歌い始めて４２年、一貫して平和と社会正義を歌う。

■田中和子

「足利歌う会」に所属し、解散後「サークルかざぐるま」に加入。
二人はハンセン病国賠訴訟勝利に強く心を動かされ「群馬・ハンセン病問題の真の解決をめざし、ともに生きる会」に入会、事務局員として活動を続ける。ハンセン病問題を歌い始め、フォーク・デユオ「ともいき」を結成し各地で歌うようになる。

■主催　群馬・ハンセン病問題の真の解決をめざし、ともに生きる会

（群馬県前橋市上小出町 3-17-6　大川正治　TEL.080-3203-4680）